

(4) プログラムの取組例 (*抜粋)

拠点形成の組織的・戦略的なシステムのモデル的なプログラムの事例を以下に挙げる。

K25 「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」

二松学舎大学 文学研究科中国学専攻

大学をあげて積極的支援を展開するとともに、小規模であるが専門性に特化した大学の長所が十分に活かされ、日本漢文学という新たな地平を切り開くなど、極めて日本的な特徴のある新分野を確立している拠点と言える。

人材育成面については、拠点に所属する多くの若手研究者は極めて質が高く、日本漢文学の持つ意味を十二分に理解した論文業績を多数発表している。

研究活動面については、日本漢文関連文献データベースの作成、機関誌「日本漢文学研究」の発刊が、本プログラムの継承発展のための確かな基礎になっている。日本の漢文学者が今までなし得なかった、中国学とは異なる日本漢文学という新しいジャンルが、本拠点による啓蒙活動や国際会議を通じて、国内外に広く知られるようになっており、韓国、ベトナムなど独自の漢文世界の研究者との交流の機会も、積極的に持たれている。